

## 第5学年2組 外国語科学習指導案

平成30年9月20日(木) 6校時

授業者 附属新潟小学校 教諭 長谷川 郁貴

会場 5年2組教室

### 1 単元名

What time do you get up?

### 2 本単元の価値

本単元は、1日の生活について伝え合う単元である。子どもは前単元までで数字や基本的な動作、教科、職業などの英語表現に触れている。それら既習の表現を使いながら、更に語彙を増やし自分の生活を説明することで、他者と自分の生活のリズムが異なることに気付き、他者理解を深められることに本単元の価値がある。

また、学習指導要領解説には「外国語の背景にある文化に対する理解が深まることは、その言語を適切に使うことにつながる」「英語が国際共通語であることを踏まえると、外国語の背景にある文化だけでなく英語を使ってコミュニケーションを図る人々の文化についても理解を深めることが大切である」とある。そこで自分自身の生活を扱うだけでなく、外国の小学生の1日の生活を取り上げ、他国の文化について理解を深めさせる。同年代の外国に住む子どもを題材にすることで子どもは興味をもって活動に取り組むことができる。このことにも本単元の価値がある。

### 3 本単元で目指す姿

**目的や課題に応じてコミュニケーションに必要な英語表現を考え、知りたい情報を得て自他を理解する子ども**

具体的には、**他者の考えとの違いに着目し、目的と情報を関係付ける**という「見方・考え方」を働かせ、外国語で情報や考えなどを表現し伝え合う資質・能力を発揮して、「考えた What time do you ～～を使ったら、知りたい情報が聞けた。僕は前に、家の手伝いをしているから朝早くに起きるのかと思っていただけ、2時間も危険な道を通学していたことに気付いた。世界には色々な人がいる。そこまでして通学している姿がすごいと思った」などと、知りたい情報を獲得し自他を理解する姿。

### 4 本単元で育成する資質・能力、そのために子どもが働かせる「見方・考え方」

単元カード参照

### 5 指導計画 全7時間

単元カード参照

### 6 指導の構想

前単元までに子どもは、数字や基本的な動作、教科、職業などの英語表現に触れている。また、相手の話が聞き取れなかった場合、ゆっくり言ってもらう、繰り返し言ってもらう等、相手の思いを理解するための方法を学んでいる(CO)。

※ 語彙 = 動詞 (play, have, want, like, swim, get up, do homework,等)  
時刻 (at 7:00, at 8:30 等)  
教科 (Japanese, math, science, social studies 等)  
職業 (teacher, doctor, firefighter, baseball player 等)

※ 英語表現 = Please speak more slowly.  
Once more please.

このような子どもに次のように働き掛ける。

#### 働き掛け1

ケニアに住む小学生の1日の生活の一部を隠した資料をALTに提示させ、疑問に思うことを問う。

既存の知識とのずれを感じさせ、問題意識をもたせるための働き掛けである。

ケニアに住む小学生の1日の生活の一部を隠した資料を提示する。また、この資料はALTに提示させる。そしてこのとき、起床時刻と就寝時刻以外の生活は子どもから見えないようにし、子どもの興味関心を引くようにする。子どもの「見方・考え方」を引き出すためである。すると子どもは日本の生活に比べ、起床時刻が早いことに目を向け、**他者の考えとの違いに着目し、目的と情報を関係付ける**という「見方・考え方」を働かせ始める。その後、疑問に思ったことを問う。問題意識を表出させるためである。すると子どもは、起床時刻、就寝時刻以外にどのような生活をしているのだろうと問題意識をもつ。

#### 働き掛け2

問題意識を解消するためにどのような英語表現が必要かを問うた後、その英語表現が含まれているWe Can1のリスニング教材を提示する。

問題意識を解消する見通しをもたせるための働き掛けである。

ここで子どもに問題意識を解消するためにどのような表現が必要かを問う。子どもの「見方・考え方」を明確化するためである。子どもは、**他者の考えとの違いに着目し、目的と情報を関係付け**

るという「見方・考え方」を働かせ、「何時に～～をしていますか？」の英語表現があれば必要な情報が得られそうだと考える。このときどんな英語表現が必要かは、日本語で答えても英語で答えてもよいこととする。子どもは知っている語彙が限られているため、既存の知識では解決できないことが想定されるからである。上記の英語表現があれば情報が得られそうだと考えた子どもに、その英語表現が含まれている教材の内容を部分的に聞かせる。どの英語表現が必要なのかを文脈の中から推測させるためである。子どもは必要だと感じた「What time do you ~?」を推測し、それを使えば違和感や問題意識を解消できそうだと見通しをもつ。

### 働き掛け3

**自分が予想したケニアの生活を伝え合う場と、実際のケニアの生活についてALTに質問する場を設定する。**

問題意識を解消させるための働き掛けである。

子どもは、問題意識を解消するための見通しをもったものの、自信をもって話すことができない状態である。このような子どもに、「What time do you ~?」を使って予想したケニアの生活を伝え合う活動を設定する。考えた英語表現を実際の場面で自信をもって使えるようにするためである。すると子どもは「What time do you ~?」を繰り返し使い（①知識・技能）、友達の反応に応じて予想したケニアの生活について主体的に伝え合い、周りの友達の予想を聞き自分の考えを更新していく（②思考力・判断力・表現力、③態度、協働性）。そして、問題意識を解消できそうだと自信をもつ。

自信をもって1日の生活を英語で使えるようになった子どもに、ケニアの生活についてALTに質問する場を設定する。子どもは「What time do you ~?」を使って、ALTの反応に応じてケニアの生活時間について聞き、主体的にコミュニケーションを図ろうとする。そして、問題意識を解消する。

### 働き掛け4

**ケニアの生活と自分の生活とを比較させ、気付いたことを問う。**

日本と異なる文化に気付かせ、日本と生活文化が異なる他者を尊重し許容する態度を育てるための働き掛けである。

問題意識を解消した子どもにケニアの生活と自分の生活とを比較させ、気付いたことを問う。具体的に自分との生活を比較させることで、漠然とした違いではなくより身近なものとしてケニアの生活を感じさせるためである。子どもは、「考えた What time do you ~? を使ったら、知りたい情報が聞けた。僕は前に、家の手伝いをしているから朝早くに起きるのかと思っていたけど、2時間も危険な道を通学していたことに気付いた。世界には色々な人がいる。そこまでして通学している姿がすごいと思った」のように得た情報を整理、再構築し（②思考力・判断力・表現力）、日本と異なる文化を尊重するようになる（③態度）。

このようにして一連の学習を経て、目的や課題に応じてコミュニケーションに必要な英語表現を考え、知りたい情報を得て他を理解する子ども(Cn)になる。

### 働き掛け5

**どうやったら必要な英語表現が分かったのか、どうやったらその英語表現を使えるようになったのかを振り返りシートに記述させる。**

発揮した資質・能力を自覚させるための働き掛けである。

活動を終えた子どもに「どうやったら必要な英語表現が分かったのか、どうやったらその英語表現が使えるようになったのか」を振り返りシートに記述させる。英語表現を見出した学びのプロセスや、実際の場面で繰り返し使うことで英語表現を身に付けていったことを再度認識させるためである。子どもは「何時は What time だったから、何時に起きますかにも What time を使うと予想した。「We can1」を聞いたら What time do you ~?だと分かった。予想して英語を聞いたら分かった。友達と繰り返し予想したケニアの生活を伝え合うことで、自信をもって使えるようになった」などと記述する。子どもは、使った表現、目的に合った使い方、伝え合った内容などを振り返り、発揮した資質・能力を自覚する。

## 7 本時の構想

### (1) 本時のねらい（本時 3/7時間目）

ケニアの小学生の1日の生活を予想することを通して、交流に必要な英語表現を見出し、自分が予想した1日の生活を友達と伝え合うことができる。

### (2) 展開

学習活動と子どもの姿 ☆資質・能力	教師の働き掛け
<p>1 ケニアに住む小学生の1日と日本の生活を比べ、学習問題を設定する。</p> <p>・1日の生活についてです。</p>	<p>ケニアに住む小学生の1日の生活の一部を隠した資料をALTに提示させ、疑問に思うことを問う。【働き掛け1】</p> <p>○指示「この前は何を勉強していたんだっけ？そうだったね、1日の生活について学んでいたんだね。Let's review・・・」</p>

- ・え～、ショーン先生が外国の写真をもってきた。どこの国かな。
- ・この写真はアフリカかな。
- ・えー、キリンがいる。南アメリカ？
- ・起きる時間4時半？
- ・早すぎる。
- ・なんでこんなに早く起きるのかな。
- ・寝る時間も早いね。

- ・起きる時間と、寝る時間以外に何をしているか聞きたい。
- ・どんな生活をしているのかを聞きたい。

- ・狩りをしていると思う。
- ・作物を育てているんじゃないかな。
- ・小学生ぐらいだから、学校に行っていると思う。
- ・何かものを作ったり、家の手伝いをしていたりするのか。
- ・飼っている動物のお世話をしている。

ケニアに住むジャクソン君の1日の生活について質問するために、どのような英語表現が必要だろうか。

## 2 学習課題を解決するための見通しをもつ。

- ・「何時に、～していますか」と言う英語表現があれば聞けそう。
- ・僕も賛成で「何時に何をしているか」を聞く表現があればいいと思う。
- ・9時に何をしていますかという表現が知りたい。

- ・いつも時間を聞かれるときに What time is it now?と言われているから What time は入りそう。
- ・たぶん What はありそう。

- ・何か今 What と聞こえた気がした。
- ・get up も言っていた。
- ・聞き取れなかったのでもっとゆっくり聞かせてください。
- ・What time do you get up?だ。
- ・What time do you go to bed?と聞いている。
- ・何時に起きますか、寝ていますか。
- ・2つとも、What time do you がついてからその後の言葉を変えると聞けそうだ。
- ・What time do you の後に、前に学んだ英語をつけると聞けるみたいだ。

## 3 自分が予想したケニアの生活についてインタビューをし合う。

- ・分かった、できそう。
- ・自分は言えるけど、クラスみんなではなさそう。
- ・言い方は分かったけどまだ自信がない。
- ・もう少し練習したい。
- ・もっと練習してから質問をしたい。

ALT 「I found something interesting. My friend tells me about . . .」

※担任が説明をしている時に、ALT に話を遮らせ、ケニアの小学生の写真を提示させる。その後、起床時刻と就寝時刻以外を隠して提示させる。

※説明が終わった後、ALT から退出してもらおう。

○発問「ジャクソン君の1日について何か気になることはありますか。」

○補助発問「起きてから、寝るまで何をしているか知りたいのですね。じゃあ、何をしているか予想してみましょう。ワークシートに記入してみてください」

※ペアの友達と相談させ、色々な意見を出させる。

○補助発問「予想はかけたかな。今日みんなが頑張りたいことは何ですか」

※子どもの言葉をつなぎ合わせて学習課題を設定する。

**問題意識を解消するためにどのような英語表現が必要かを問うた後、その英語表現が含まれているWe Can1のリスニング教材を提示する。【働き掛け2】**

○発問「どのような英語表現があればケニアの1日の生活が聞けそうですか」

○補助発問「『何時に、～していますか』や『9時に何をしていますか』のような英語表現があれば聞けそうなのですね」

○補助発問「『何時に～をしていますかという』や『9時に何をしていますか』という表現にはどんな英語が使われそうですか」

○指示「みんなが知りたい表現はあるかな。We Can1 を聞いて確かめてみましょう」

○補助発問「みんなが気付いた What time do you get up?ってどういう意味だと思いますか。What time do you go to bed?は」

○補助発問「ほかの質問はどうやって聞けばいいのかな」

※ We Can1 をデジタル教材を使って、音声を流す。

※子どもの反応に応じて一文ごとに区切ったり、スピードを変えたり、繰り返したりする。

**自分が予想したケニアの生活を伝え合う活動の場を設定する。【働き掛け3-①】**

○発問「これでケニアの1日の生活について質問できそうですか」

○補助発問「全員が自信をもってショーン先生に質問できそうですか」

<p>・友達と交流して正しい予想を見つけよう。</p> <p>A What time do you eat breakfast? B I eat breakfast at 6:00. A What time do you 狩り? B 狩り?I 狩り at 7:30. A What time do you dance? B I dance at 9:00. A What time do you 農業? B え~, 農業?農業はしていないでしょ。 I don't 農業.</p> <p style="text-align: center;"><b>☆外国語①②③ 協働性 本時ここまで</b></p>	<p>○指示 「みんな練習が必要だと考えているのですね。じゃあ、考えた『What time do you ~?』を使って練習してみましょう。自分が予想したケニアの1日を伝え合ってみましょう。さっき予想を書いたワークシートを持ってください。色々な人と予想した生活を聞き合いましょう。友達と交流してその考えがいいなと思ったら、自分の予想を変えてもいいですよ」</p> <p>※授業で扱っていない語彙はその部分だけ日本語にしてよいこととする。</p> <p>※教室を自由に歩き回らせて、多くの子と交流させる。</p>
<p><b>3 ケニアの生活についてインタビューをする。</b></p> <p>・What time do you ~?と聞けばよかったのだったな。</p> <p>子 What time do you go to school? ALT I go to school at five thirty. 子 Once more please. ALT Ok.I go to school at five thirty. 子 What time do you go home? ALT I go home at one p.m.</p> <p>※以下、ケニアの1日の生活について質問させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・えー、学校まで2時間もかかるの。</li> <li>・しかも歩いて学校まで行っているよ。</li> <li>・日本にない教科を学校で勉強している。</li> </ul>	<p><b>ALTにケニアの生活について質問をする場を設定する。 【働き掛け3-②】</b></p> <p>○指示 「みんなが考えた英語表現でケニアの生活について聞くことはできるようになりましたか。それでは、ショーン先生に実際にインタビューをしてみましよう」</p> <p>※ ALT に登場してもらおう。</p> <p>○発問 「ショーン先生に聞きたいことはありますか。みんなが考えた英語表現を使って生活を聞いてみよう」</p> <p>※ ALT には子どもの質問に答えるだけでなく、生活の様子が分かる写真を提示してもらったり、補足で説明をしてもらったりする。</p>
<p><b>4 ケニアの生活と自分の生活とを比較する。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ええ、僕は15分で学校に着くの、2時間もかけて歩いている。</li> <li>・日本にない教科を学校で勉強しているね。なぜ宗教を勉強するのか。</li> <li>・僕は前に、家の手伝いをしているから朝早くに起きるのかと思っていたけど、2時間も危険な道を通学していたことに気がついた。世界には色々な人がいるのか。でも、そこまでして通学している姿がすごいと思った。</li> </ul> <p style="text-align: center;"><b>☆外国語②③</b></p>	<p><b>ケニアの生活と自分の生活とを比較させ、気付いたことを問う。 【働き掛け4】</b></p> <p>○指示 「自分の1日の生活とジャクソン君の生活を比べてみましょう」</p> <p>○発問 「比べてみて、どんなことに気付きましたか」</p>
<p><b>5 振り返りシートに記述する。</b></p> <p>・What time は使うかなと予想して We Can を聞いたら分かった。友達と繰り返しケニアの予想を伝え合う中で分かってきた。</p>	<p><b>どうやったら必要な英語表現が分かったのか、どうやったらその英語表現を使えるようになったのかを振り返りシートに記述させる。 【働き掛け5】</b></p> <p>○指示 「どうやったら必要な英語表現が分かったのか、どうやったら使えるようになったのか振り返りシートに書きましよう」</p>

**(3) 評価**

考えた英語表現(What time do you ~?)をつかって、友達の反応に応じて予想したケニアの生活について主体的に伝え合うことができる。(友達とのやりとり)。

- (例) A What time do you eat breakfast?  
B I eat breakfast at 6:00.  
A What time do you 狩り?  
B 狩り?I 狩り at 7:30.  
A What time do you dance?  
B I dance at 9:00.  
A What time do you 農業?  
B え~, 農業?農業はしていないでしょ。  
I don't 農業.